



議会だより



中高生と吹奏楽団の合同演奏
2018いなわしろ音楽祭

平成30年12月定例会・臨時会

あらまし・議案審議・予算審査特別委員会	2
請願・陳情・委員会提出議案	4
臨時会・一般質問目次	5
一般質問 8人が登壇	6
委員会レポート	14
わたしたちの町(猪苗代中学校)	16

町のホームページはこちらから



議会だより

マチイロのご利用は下のQRコードから



App Store



Google Play

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地
<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

郡山市との連携中枢都市圏形成に係る 連携協約の締結に関する協議が可決

あらまし

12月定例会は12月4日から13日まで開催されました。町長から提出された議案は、専決処分の報告案件2件、平成30年度補正予算案件7件、条例の制定案件1件、条例の一部改正案件4件、条例の廃止案件1件、財産の取得案件1件、連携中枢都市圏形成に係る連携協約締結に関する案件1件、一部事務組合規約の変更案件が1件であり、すべて原案のとおり可決しました。また、委員会提出議案1件が提出され、一般質問は8人の議員が2日間にわたり行いました。

【主な質疑】

郡山市と猪苗代町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

問 圏域生活のサービスを行った場合、特別交付税措置があるようだが、該当する事業は。

答 圏域生活関連サービスの向上に係る事業について連携協約締結をし、都市圏ビジョンでうたわれた事業に予算措置される。

問 連携する郡山市と十分な協議を行わなければならない。特別交付税を当てにして事業を行うのか。

答 これからますます深刻になる人口減少、少子高齢化の中で、圏域に住む住民が安心して一定程度の経済活動が持続可能な圏域を作ることが目的である。住民生活に密着した関連サービス

向上が図られることを着眼点に出发したい。

問 この連携協約の内容で圏域に移行とした主な理由は。

答 広域で地域おこしをしたいと考えて賛同した。

問 具体的な事業の決定は。

答 素案を作成し、関係市町村の住民や利害関係者のパブリックコメントを行い、3月までに策定する予定である。

反対討論！

【渡辺二公】

将来が危惧されるため反対。

【五十嵐ミエ子】

町が取り組むべきことは郡山市との連携ではなく、さまざまな計画に盛り込まれている町行政と町民との連携であり、すぐに協定を結ぶことに反対。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

問 改正の具体的な内容は。

答 職員の能力を引き出すために、業績と能力の評価を行う。目標を設定し、業績評価は半年ごとに行い勤勉手当に反映させ、能力評価は期末に行い、業績評価と併せて昇給に反映させる。

問 格差が生じてくるが、職員の士気に対する影響は。

答 成績率に差は出るが評価の結果である。職員のやる気、人材育成を目標としているので、ご理解願いたい。

反対討論！

【渡辺二公】

差別を生むことに通じるので反対。

財産の取得について

問 小型動力ポンプの6台更新だが、経緯と今後の計画は。

答 対応年数15年を超えたポンプ車などの機器を、国の交付金で緊急性を要する古いものから順に更新する。

予算審査特別委員会

議長を除く13人の委員で、平成30年度補正予算7件を審査し、すべて可決しました。

平成30年度一般会計補正予算

歳出

《民生費》

問 児童クラブで利用している学校施設にエアコンを設置した費用は、教育費から支出すべきでは。

答 子ども子育て支援交付金の補助があり、民生費での計上が条件であった。

《農林水産費》

問 緑の村施設管理費の指定管理料の増額は。

答 合併浄化槽の整備に伴い、今年度の法定点検に係る経費等の増額が見込まれるため計上した。

《商工費》

問 国内観光活性化フォーラムinふくしま負担金の増額は。

【議案内容と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬真	細貝功人	佐藤英一郎	欠員	渡辺二公	長澤操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫	
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
郡山市と猪苗代町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、同数の場合は議長が採決に加わる。

連携中枢都市圏とは？

人口減少・少子高齢化社会においても、住民が安心して暮らしを営み続けられるように、中核市等と周辺市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化をすることが重要です。活力ある社会経済を維持するための拠点形成する政策です。連携中枢都市圏は、地方自治法第252条の2第1項に規定された連携協約を締結することにより形成される圏域で、地域の実情に応じて自由に連携する内容を協議し、地方自治法に裏付けのある政策合意を行うことになります。近隣市町村が連携して、次の3つの施策に取り組みます。

1. 圏域全体の経済成長のけん引（産業、広域観光等）
2. 高次の都市機能の集積・強化（医療体制、公共交通網等）
3. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上（福祉、教育、災害対策、人材育成等）

猪苗代町では、「第七次猪苗代町振興計画」の目指すまちづくりに資するため、郡山市を連携中枢都市とした「こおりやま広域連携中枢都市圏」を形成すべく、郡山市との協議を経て連携協約の締結を目指しています。

こおりやま広域圏構成市町村は？

郡山市・須賀川市・田村市・本宮市・大玉村・鏡石町・天栄村・猪苗代町・石川町・玉川村・平田村・浅川町・古殿町・三春町・小野町の4市7町4村で構成されています。

歳出

問 本年度スタートした介護保険計画の基金に乖離があるが。

答 基金の繰り入れ総額は当初の計画よりも給付費の伸び、傾向が見られ、計画よりも増加する見込みがあると推計している。

《土木費》

問 空き家対策費の減額だが、対象の持ち主に補助金があることは通知しているのか。

答 適正な空き家の管理について電話や文書でお願いし、併せて補助事業があることもお知らせしている。

《消防費》

問 洪水土砂災害ハザードマップ作成を次年度に作成する理由は。

答 より充実した、効果的なハザードマップを専門家に委託作成したい。

平成30年度介護保険特別会計補正予算

歳出

問 本年度スタートした介護保険計画の基金に乖離があるが。

答 基金の繰り入れ総額は当初の計画よりも給付費の伸び、傾向が見られ、計画よりも増加する見込みがあると推計している。

一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

長澤 操

教育環境の整備

瀧田 勝昭

人口減少に伴う行政運営

五十嵐 ミエ子

文化財を活かしたまちづくり

佐瀬 真

医療政策と高齢社会

渡辺 二公

冬季の除雪

渡辺 真一郎

隣接町村（磐梯町、北塩原村）

との連携

星野 あけみ

防災・減災

金本 久美子

統合中学校建設に向けた現状

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。

本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

臨時会

（12月27日）

県人事委員会勧告に準拠し改正

あらまし

平成30年第6回臨時会は12月27日開催され、平成30年度補正予算6件、条例の一部改正案3件を審議し、すべて原案のとおり可決されました。

また、委員会提出議案1件が提出され、原案のとおり可決されました。

【主な審議内容】

○平成30年度猪苗代町一般会計補正予算（第6号）
歳入歳出それぞれ459万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ80億6616万4千円とする。

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
福島県人事委員会勧告に準拠し、職員の給料月額及び諸手当の額を改定する。

○議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
福島県に準拠し、議員に支給する期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を改定する。

○町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
福島県に準拠し、町長等に支給する期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を改定する。

平成30年度猪苗代町一般会計補正予算（第6号）

反対討論！

【五十嵐ミエ子】

議員の期末手当増額補正は、町民の生活状況の現状を考えると、納得が得られないので反対。

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

反対討論！

【五十嵐ミエ子】

議員の期末手当増額の理由として、県の改定に準じとあるが、法的に従う根拠がなく、町民の納得が得られないので反対。

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

反対討論！

【渡辺 二公】

平成29年度の決算の中で、町の財政が大変厳しい状態であることを認識していただきたいという監査委員の意見を尊重し反対。

※臨時会の可決状況は、4ページ下段の表のとおりです。

あなたの声を審議しました！！

12月定例会で審議された「請願・陳情」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者・陳情者の氏名	紹介議員氏名	付託 委員会	審議結果
請願 第7号	「猪苗代城址駐車場近隣にトイレ設置」を求める請願書 小林栄顕彰会専務理事 小檜山 六郎	渡辺 二公	経済 建設	継続 調査
陳情 第5号	国に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての陳情 新日本婦人の会福島県本部猪苗代班代表 阿部 純子		文教 厚生	採択
陳情 第6号	千石川、小田川（用水路）の河川改修工事について 明戸区長 遠藤正直、長瀬地区区長会会長 大坂悌造、幸野区長 南波博文、新屋敷区長 佐藤初喜、曲淵区長 佐藤公一、東館区長 五十嵐巖、白津区長 渡部正之、内野区長 佐藤郁子、下館区長 鈴木浩、志津区長 秋山義徳、荻窪区長 阿部昭、水沢区長 遠藤正浩、伯父ヶ倉区長 阿部達也、道下区長 瀧沢千恵子、月輪地区区長会会長 佐藤悦夫、夷田区長 渡部和人、金曲区長 渡部高男、都沢区長 戸田孝、壺下区長 白岩定好、吾妻地区区長会会長 古川泰一郎		経済 建設	継続 調査
陳情 第7号	明戸地区生活道路（公道・町道）舗装回収工事について 明戸区長 遠藤正直、長瀬地区区長会会長 大坂悌造、幸野区長 南波博文、新屋敷区長 佐藤初喜、曲淵区長 佐藤公一、東館区長 五十嵐巖、白津区長 渡部正之、内野区長 佐藤郁子、下館区長 鈴木浩、志津区長 秋山義徳、荻窪区長 阿部昭、水沢区長 遠藤正浩、伯父ヶ倉区長 阿部達也、道下区長 瀧沢千恵子		経済 建設	継続 調査
陳情 第8号	道路の側溝損壊の補修についての陳情 中町区長 星 利夫		経済 建設	採択

委員会提出議案

学校給食費の無料化を求める意見書

【提出者】文教厚生常任委員会 【提出先】内閣総理大臣、文部科学大臣
【内容】全国どこに住んでいてもすこやかな子どもたちの成長を保障するうえで、学校給食費の保護者負担分を無料にすること。

賛成討論！

【渡辺 二公】

形式的には不十分であるが、内容的には適切な時期での意見書と理解しているので賛成

反対討論！

【瀧田 勝昭】

給食費無償化は十分理解し賛同できるが、文教厚生常任委員会で十分な議論が成されたと感じられず、意見書の内容も賛同できないので反対。

【金本 久美子】

趣旨は理解できるが、議会としてこの意見書を採択し、提出するには不十分であるので反対。

件名	1 星野あけみ	2 瀧田勝昭	3 佐瀬真	4 細貝功人	5 佐藤英一郎	6 欠員	7 渡辺二公	8 長澤操	9 金本久美子	10 渡辺真一郎	11 五十嵐ミエ子	12 佐藤光幸	13 関沢和人	14 後藤公男	15 長沼一夫	結果
国に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての陳情	×	×	○	×	○	－	○	×	×	○	○	×	○	○	－	可決
下段3つの議案は、12月27日に行われた臨時会の可決状況となります。																
猪苗代町一般会計補正予算（第6号）	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	○	○	○	－	可決
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一を改正する条例	×	×	○	○	○	－	×	○	○	○	×	○	○	○	－	可決
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	－	×	○	○	○	×	○	×	○	－	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、同数の場合は議長が採決に加わる。



長澤 操

【質問】夏場の猛暑日に対する現状と対策は。

【教育総務課長】各学校には、冷房設備はなく、壁掛け扇風機で対応している。今後、各小学校には、冷房を整備する計画を進めている。



進められる学校への冷房設備

【質問】幼児教育の無償化への認識は。

【こども課長】3歳以上の幼児教育の保育料及び、3歳未満は住民税非課税世帯の保育料無償化が、平成31年10月から実施を目指す閣議決定された。財源は、確定しだい、次年度予算で対応したい。

Q. 9月末時点の観光客の入込状況は

A. 長浜・志田浜・天神浜で増加、スキー場、温泉施設など主要観光施設では減少

【質問】観光地域の整備促進は。

【商工観光課長】達沢不動滝の駐車場拡幅工事、国道及び県道に英語標記等の案内看板設置、母成峠の慰霊碑案内看板の移転改修、猪苗代十三観音の案内看板を設置している。

【質問】誘客のための販売促進の取り組みは。

【商工観光課長】県外小中学校を対象とした教育旅行支援事業、国内旅行の回復に向けた観光誘客支援金事業、インバウンドの回復に向け外国人誘客支援金交付事業を実施している。

【質問】道の駅と町内商店との相乗効果や波及効果は。

【建設課長】全国の道の駅満足度ランキングで上位に入るなど、注目度が高くなる多くの来場者があつた。町内事業者の出品や食材等の直接取引の割合も高く、効果は大きいと捉えている。

【質問】特産品の取り組みは。

【農林課長】米は天のつぶのブランド化、町内産そばの天の香、磐梯トマトやアスパラガスなど、13品目を振興品目として、補助金交付などを行いながら普及に取り組んでいる。

【質問】労働力不足が懸念されるが。

【商工観光課長】町内の有効求人倍数が3・9倍で、各分野での労働力不足が懸念される。商工観光課内に無料職業紹介所を設置し、求職者と求人者双方のマッチング支援に努めている。

Q. イノシシの捕獲は
A. 実施計画に基づき
個体数調整を行っている

【質問】イノシシの被害が増えている。対策は。

【農林課長】緩衝地帯を設ける環境整備、電気柵等による被害防除、有害捕獲による個体数調整の三本柱に、駆除隊や町民の協力をいただき対応している。



瀧田 勝昭

Q. 人口減少で行政サービスの低下は
A. サービスの維持は十分に検討していく



役場庁舎内の現住人口

【質問】圏域に町の権限を全部移譲して、行政サービスも圏域化する構想もある。郡山市連携中枢都市圏と会津若松地方広域圏整備組合のどちらに軸足を置くのか。

【総務課長】若松地方広域で消防、ごみ、し尿処理、介護認定審査判定業務などを行っている。郡山市広域連携は郡山に通勤、通学等の経済圏であり、今後広域の中心は十分活用していく。

【質問】人口減少で職員数が減っていった一人ひとりの能力が、以上に求められる。人材育成はどのように図っていくのか。

【総務課長】人事評価によって個人の長所、短所を把握し、フォローアップしながら、職員のモチベーションを上げていくことが基本である。

【質問】コンプライアンス活動に関する教育は、どのようにになっているか。

【総務課長】法令遵守というのが基本で、公平・公正に業務を遂行している。職員一人ひとりがコンプライアンス意識をもつての行動が必要である。職員の教育を進めながらコンプライアンス体制の確立に努めてまいりたい。

Q. 教育を町民に知らせることは

A. 地域に子どもたちが積極的に参加する

【質問】誰もがいきなくなる学校は、不登校、いじめ、教員の健康問題などがなく、学校の目標が明確である。学校は地域の中にあるのでは。

【教育長】子どもたちが将来の夢、志を高く持ち、その実現の基礎を培う教育を行うことが学校だと思ふ。学校、保護者、地域、行政が連携し、それぞれの役割を担い、子どもを育てることが大切だと考える。

【質問】30億の中学校校舎建設で、10億起債、10億交付金、10億の自主財源、人口減少のなか、過去の財源確保の手法でできるのか。また、耐震補強と内装をリノベーションで行うべき。

【教育総務課長】建設財源は、公立学校施設整備費国庫負担事業。質問のとおりのような内容である。今後、学校木質化等による補助金を活用したい。



旧病院のリノベーション前



旧病院のリノベーション後



五十嵐ミエ子

【質問】文化財の現状は。

【生涯学習課長】長い歴史の中で先人が残した貴重な文化財が数多くある。その中でも重要な文化財として指定されているものは、国10件、県12件、町39件の合計61件となっている。

【質問】歴史や文化財の保存活用、地域計画を作成すべきと考えるが。

【生涯学習課長】文化財保護法に基づき保存と活用を図っている。地域計画は国の指針に基づき、県が文化財の保存活用に関する総合的な施策の大綱策定を進めている。その後文化財保存活用地域計画の策定を行う。

Q. 国民健康保険医療の抑制策は

A. 特定健診や健康づくり事業など保険者努力支援制度を行っている

Q. 次期町長選挙への出馬の決意は

A. 揺るぎない信念のもと、決断と実行で3期目に挑戦したい

【質問】町長の総括と自己評価は。

【町長】就任直後は東日本大震災と東京電力原発事故で、その復旧・復興、風評被害の払拭が大きな課題であった。公約に「活力あるまちづくり」「未来をひらく人づくり」などに尽力し、2つの認定こども園の整備や道の駅の開設を進め、ブランド米「天のつぶ」の振興や農業の六次化の推進により、産業進展に大きな実績を残した。町民の一定の期待に沿うことができたと評価している。

Q. 歴史や文化を「伝える教育」が重要だが

A. 将来の猪苗代町を作る強い力を育むもので、子どもたちの情操教育にも大切な役割を果たす



県指定の文化財「猪苗代城跡附鶴峰城跡」

【質問】国民健康保険被保険者資格証明書は中止すべきと考えるが。

【町民生活課長】国民健康保険法で規定されている。個別の納税相談をしているが、まったく対応していただけないケースがある。医療費の公平な互助制度では難しい。

【町民生活課長】国民健康保険法で規定されている。

【質問】国民健康保険料負担を減らすには、医療費の削減が必要である。

【町民生活課長】後発医薬品使用の取り組みは、希望シールの配布や変更した際の差額などを通知している。

【質問】高齢者の取り組みは医療と介護の連携が大事だといわれているが。

【保健福祉課長】今年度から在宅医療介護連携推進事業取り組みとして、顔の見える関係構築のために、多職種連携合同研修会を開催している。

【質問】高齢者が引きこもることは、肉体的な衰えや認知症のリスクが高まる。デイサービス利用の割合は。

【保健福祉課長】要介護者認定のうち約2割の方が利用している。

【質問】高齢者の足となる駅、病院、役場、カメラナ、学びいなどを循環するバスは、高齢者免許返納も含め必要と考えるが。

【企画財務課長】高齢者の足の確保は速やかに措置を講じなければならない。交通事業者や町の財政を総合的に踏まえ、何ができるのか近々に検討していく。

※2025年問題とは？

団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者（75歳以上）になり、介護・医療費などの社会保障費の急増が懸念されている。これまで国を支えてきた団塊の世代が給付を受ける側に回るため、医療費、社会保障などの課題にどう取り組んでいくかが大きな問題となっている。

【企画財務課長】かかりつけ医の効率的な普及・啓発、救急搬送における医療機関連携など、医療体制の広域連携の課題の調査・検討を行うものである。

【質問】郡山市との連携中枢都市圏構想の中で、医療機関の連携の充実とは。

Q. 高齢者の足としての交通手段の考えは

A. 速やかに何らかの措置を講じなければならないと感じている

【質問】今年度から始まった医療費抑制を含めたデータヘルス計画の内容は。

【町民生活課長】医療費が高騰する原因の生活習慣病を減らすため、個別の保健指導を行う。

【質問】猪苗代病院の診療科は町民の要求に合っていないとの指摘もあるが。

【保健福祉課長】医師不足から休診している科もある。今後アンケートなども検討していく。



複数持っていないませんか、お薬手帳



星野 あけみ

Q. 自助・公助・共助の防災力向上に向けての取り組みは

A. 地域や家庭での防災意識の向上と、切れ目のない継続した取り組みが必要

【質問】地域防災力を高めるには、自主防災組織の活性化が必要である。働きかけは。

【総務課長】平成30年度は46地区の自主防災組織が結成された。

県の自主防災活動促進事業、自主防災組織リーダー研修会の案内をしている。町政出前講座も実施している。研修会等を活用した組織等はないが、リーダー研修会へは1名が参加した。

【質問】区長が自主防災会長を兼務しているところもあり、負担になっているのでは。

【総務課長】かならずしも区長にお願いしているわけではない。いざという時に、有効的、効果的な避難できるように、地区をまとめて頂ける方が望ましいとお願いしている。

【質問】町政出前講座を行政区単位ではなく、グループや地域の学習会等で活用することは可能か。

【総務課長】相談があれば、柔軟に対応したい。

【質問】広報猪苗代11月号にブロック塀の安全点検のお願いが掲載されたが、町の立ち合いや助言等はあるのか。

【建設課長】町と県で10月に通学路を中心に安全点検を行った。危険と判断されたブロック塀所有管理者へ、安全対策のお願いを配布した。問い合わせがあった場合は、現地の確認や適切な助言をしたい。

【質問】通学路以外でも町全体を点検するのか。

【建設課長】点検箇所リストをもとに、順次点検していく。



暴風雪時の視界不良に注意が必要

【質問】防雪柵による風のまきあげが視界不良となり危険である。見直しや検証は。

【建設課長】防雪柵には、固定式、架設式、吹留式、吹き払い式がある。

あらゆる気象条件に効果を発揮する防雪柵はない。各地域から、新たな設置要望もあるので、見直しや検証をし、対策を講じたい。

【質問】道路標識や白線の点検整備はしているのか。

【建設課長】毎月のパトロールと区長や道路通行者の情報提供により現状把握している。規制を伴うもの、伴わないものによって設置管理が違う。財源の範囲内で対応したい。

【質問】建設財源の確保は。

【教育総務課長】文部科学省の補助金を、最大限の補助率に乗せて対応したい。また、学校木質化で農林水産省、県森林環境税の交付金事業や、木製品などは環境交付税の利用も考えている。備品は、現3校で使用できるものは使用する。

現在基本計画設計中だが、極力経費自体を抑えるような工法や工夫を検討している。

【質問】保護者説明会、関係地区説明会の協議は。

【教育総務課長】9校で保護者説明会を行ったが、建物建設に関する話はほとんど出ず、体育館建設中となる間の授業や部活動のことや、遠隔地からの通学手段とスクールバスに関する内容が特に多かった。今後は、進捗状況を見ながら、保護者説明会や関係地区などと協議を行いたい。

【質問】建設・解体と、授業・学校行事などの活動が同一敷地内で行われることへの考えは。

【教育総務課長】通常どおりにはいかないと思っている。体育館は最後まで残るが、教科見直しを行い、例えば他の学校や施設を借りるとか、他のクラスと一緒にバス移動するなど、工夫についても校長先生と協議している。

【質問】新校舎建設中に統合までの2年間を前倒し、吾妻中、東中の2校を猪中生が使用する柔軟な対応はできないか。

【教育総務課長】体育の授業や他のイベントなどは、学校間の協力も考えていたが、制度上、確認する必要がある。

【質問】猪中の敷地を無条件で設計すれば、配置も含め工事の効率化、安全性、経費の削減、学校生活の充実化等につながるのでは。

Q. 伝保人、ジオパークのガイドの活用は
A. 本町観光がさらに発展する仕組みを伝保人をはじめ関係者と進めたい

【質問】今後の観光ガイドの養成は。

【商工観光課長】各種団体やガイド相互の研鑽などで、レベルアップを図

【教育総務課長】学校の運用は町だけでは決めかねる。上部機関の確認が必要と考えるが、厳しいと思われる。

【質問】開校の時期は。

【教育総務課長】平成34年4月開校を目指し、新年度に校名を決め、校歌、校章、制服等の作業を進めたい。

いなわしろ 新八景

「いなわしろ新八景」は、会津藩主 保科正之公に迎えられて藩主の助言者としても活躍した江戸時代の朱子学者・山崎闇斎が選んだとされる「いなわしろ八景」にちなみ、現代に残る素敵な古里の風景を掘り出して新たな名所にしようと、企画されたものであります。平成23年6月22日に最終選考会が行われ、八か所に決定いたしました。

④ 天鏡台(町営牧場を含む)

⑤ 天神浜

ガイド

いなわしろ伝保人会 TEL090-7799-3094

磐梯山の力 TEL0242-66-2667

はれがさやガイド本舗 TEL0241-23-9018

伝保人がガイドをしている
いなわしろ新八景

委員会レポート

総務常任委員会 野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金の現状

【概要】

ふるさと納税寄附金は、平成20年の地方税法等の一部改正により、町で条例を定め、ふるさと納税ができる制度が創設された。当初からふるさと納税を受け入れていたが、27年10月以降に返礼を始め、28年度は537件で3900万円、29年度は1396件で1億円を超えた。

29年度から地域おこし協力隊により、ふるさと納税をwebサイト等にも拡大した。総務省から返礼割合見直しの要請があり、3割以内にした。返礼品として多いのは米で、宿泊券も伸びている。

サイト料やクレジット等の決済に係る使用料は、決業者やポータルサイト運営会社に支払っている。大口寄附者については、町が直接寄附申込みを受け返礼している。また、使途明確化のため、第七次猪苗代町振興計画の基本目標から、新たにできるサービスや六次化商品等を返礼品として推進する。

【意見】

ふるさと猪苗代応援寄附金が1億円を超えるまでに伸びてきた。地域おこし協力隊がサイトの拡大、返礼品の開拓、礼状発送等積極的に活動している。

寄附に対してサイト料が増大であることを今後検討し、町独自の寄附の受入拡大等や寄附金の使途について、実質的な事業への充当額等の情報公開が必要であると考えている。さらに、取扱い方も事業者に分かりやすく説明し、猪苗代特産のおいしいものを開拓していく努力が必要である。



返礼品の割合を3割以内に見直した

経済建設常任委員会 農業政策(経営所得安定対策)の変更に伴う現状

【概要】

30年産から国による主食用米の「生産数量目標」の配分が廃止され、農業者(産地)が主体的に、需要に応じた生産・販売を行うこととなった。経営所得安定対策の主な変更点は米の直接支払交付金・備蓄米助成が廃止されことである。

国から配分される資金枠の範囲内の「産地交付金」として新たに町でブランド化し、海外に輸出している「いなわしろ天のつぶ」の取り組み拡大を図るため、「新規市場開拓用米助成」として10a当り5千円が創設された。本年の作付け状況は、昨年の作付け面積1586haに対し、30年度目安が1579haであり、直近の資料によると10ha程度増という状況である。

次年度の作付け目安は、報道によると本年産の実作付面積を基準に次年度の目安を割り振るということで示された。目安を無視して大幅に上回って作付けしている市町村は、次年度も余計に作付面積の目安が示されることとなる。

り、本町のように目安を目標に努力をしてきたところは本年度実績から18ha減らされることとなる。

【意見】

国の政策が定まらないと市町村自治体だけでは限りがある。国による「生産数量目標」の配分が廃止され、農業者(産地)が主体的に、需要に応じた生産・販売を行うこととなった。しかし、過剰生産を避けるための目安を超えた作付けが基準数字になり、目安を守った農業者(産地)が作付けを減らすこととなり、対策が急務である。



31年度の作付面積が18ha減らされる

小中学生の健康と体力

【概要】

発育測定の結果は、小学校男子の身長は県・全国平均と比べ若干低く、女子は高い傾向にある。体重は上級生の女子は過多気味だが全国平均並である。中学生男子の身長は県・全国より3年生が少し低く、体重は若干肥満の傾向にある。女子は身長、体重共に県・全国平均並である。肥満指数(BMI)の出現率は、全体的に学年が上がる少し増える傾向がある。

アレルギー調査は小中学校で行っている。アレルギーを持つ子どもも多いため、給食では代替品や特別食で対応することもある。

視力は中学校になると大幅に悪くなる。

むし歯は、未処置が処置完了と同数程度で非常に問題である。小学校低学年の乳歯の未処置が多く、中学校は約4分の1が未処置である。むし歯の未処置数は、県の数値も全国よりずっと高い。未処置放置が良くないことを呼びかける。

体力測定結果は、小学校男子は高学年になると下回り、

小今年度から指導主事を配置し強化に努めている。中学生は全国平均に比べると1年、2年生は劣る部分があるが、3年になると回復している。

【意見】

教育委員会・学校関係者と家庭・保護者とのコミュニケーションの場や気軽に相談できる体制をつくり、児童生徒の運動・生活・食習慣等を把握することが必要である。

今後も健康診断や全国体力調査の分析結果などを活用し、学校における体育・健康に関する指導などの改善と、あらゆる機会をとらえ保護者への啓発にも努めていただきたい。



健やかな身体のために健康管理を

議会改革調査特別委員会

猪苗代町議会では、分かりやすい開かれた議会づくりに向けて、町民の皆様の議会に対する考えや意見を把握し、よりよい議会運営に反映させるため、「町議会に関するアンケート」を実施しました。

本アンケートの趣旨をご理解いただき、多くの皆様にご協力をお願いしましたこと、に、厚くお礼申し上げます。いただきましたご意見は、これからの議会改革の議論のなかで、参考にしてまいります。

委員長 瀧田 勝昭

議会運営委員会 議会活性化の取り組み

【(寄居町議会)】

平成29年10月から議会報告会・意見交換会を実施し、意見交換会では議員が役割分担し、ワークショップ形式で行っている。日当と政務活動費は支給していない。常任委員会は2委員会、インターネット中継は30年9月からスタートし、政策提言も29年10月に4項目について町側に提出している。現在は議会モニターやタブレット端末の導入の検討を進めている。

平成22年6月から議会報告会・意見交換会を教室形式で行っている。途中中断となったが、身近な議会にするために30年度に再開される。日当は廃止しており、政務活動費は月額2500円となっている。議長交際費のホームページでの公開や議員定数の削減

【意見】

寄居町議会は、町民の前に出て行って、あるべき姿を見せたいことが議会改革の第一歩として活動している。

ときがわ町議会では、議会報告会、意見交換会を平成22年から実施したが、24年に中断となった。その後、町民が議会に興味を示したこと、30年に再開した。

両町とも、町民の声を背景に議会基本条例を制定し、議会改革に取り組んでいる。本町でも、議会基本条例を始めとする議会改革に向けた取り組みが求められる。



ほんだ のの 埜乃さん (猪苗代中学校)



わたしたちの町

～交流を通して～



私は猪苗代中学校吹奏楽部に所属しています。そんな私たち吹奏楽部は毎年、町内のさまざまな行事に参加させていただいています。

その中でも印象に残っているのは「磐梯まつりパレード」と「いなわしろ音楽祭」です。パレードは町内の各小学校も参加していますが、私たちは猪苗代吹奏楽団の方々と一緒に演奏しています。小学

年代を問わず親切なかかわり、見守ってくださるおかげで、私たち中学生は安心して猪苗代で暮らすことができます。とても、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは私たちもよりよい猪苗代を作っていきたいです。

校とは異なり、人数が少ないので大人の方々と交えてのパレードはとても楽しいです。いなわしろ音楽祭は今年も12月にありましたが、吹奏楽団のほか、猪苗代高校吹奏楽部のみなさんなど約50人の大人で演奏することができました。このような機会を通して猪苗代の方々と交流を深められることを大変嬉しく思います。

傍聴においで下さい

**3月議会は
3月5日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日:11日(月)・12日(火)】

※質問者・質問内容については3月1日以降に町のホームページ(議会事務局)に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえき まるしめ

議会の行事

会津耶麻町村議会議員研修会(10月12日)

会津地方振興局長の佐久間弘元氏を講師に迎え「特色あるまちづくりに向けて～会津地方北部の活性化について～」の講演が行われました。(北塩原村生涯学習センター)



今号の表紙

12月8日に行われた「いなわしろ音楽祭」には、子どもから大人まで幅広い年代の方が参加し、ステージを盛り上げました。



編集後記

クリスマス寒波も期待していたほど雪を運んでくれず、気温の高い気候は正月の観光に大きな影響を及ぼしています。そのような平成30年も終わりを迎える最後の週にこの編集後記を書いていきます。

議会だよりは、年4回開かれる議会月の翌月には皆様の手元に届くように、担当している議員自らが編集作業を行い発行しています。

また、私たち議会の議会改革案を策定するにあたり、町民の皆様方に議会へのアンケートをお願いいたしました。寄せていただきましたご意見を参考に、皆様の代表として議会議員活動していく所存です。

これからも猪苗代町議会をよりしく願っています。

佐瀬 真

議会広報編集特別委員会

委員長 後藤 公男
副委員長 佐藤 英一郎
委員 星野 あけみ
委員 瀧田 勝昭
委員 佐瀬 真
委員 細貝 功人
委員 渡辺 二公
議長 長沼 一夫